

<資料1>

1. 熱測定討論会 20年の歩み

回	開催日	会場	運営(組織)委員長(世話人)	参加者数(講演件数)
1	1965年11月19~20日(大阪)	大阪大学松下会館	関 集三	— (30)
2	1966年11月17~19日(東京)	科学技術館	向坊 隆・益子洋一郎	289 (35)
3	1967年11月27~28日(大阪)	大阪科学技術センター	藤代 亮一	328 (56)
4	1968年11月14~15日(東京)	日本都市センター	神戸博太郎・大坪 義雄	323 (58)
5	1969年11月20~21日(大阪)	大阪科学技術センター	小野宗三郎	339 (58)
6	1970年11月19~20日(横浜)	神奈川県社会福祉会館	金綱 久明	360 (59)
7	1971年11月25~26日(名古屋)	名古屋市立科学館	武内 次夫	345 (82)
8	1972年11月28~29日(岡山)	岡山衛生会館	森本 哲雄	274 (78)
9	1973年11月14~16日(大阪)	大阪科学技術センター	関 集三	330 (81)
10*	1974年11月28~30日(東京)	全共連ビル講堂	高橋 洋一	317 (88)
11	1975年11月19~21日(福岡)	福岡電気ビル講堂	尾山外茂男	213 (82)
12	1976年10月18~20日(名古屋)	名古屋大学工学部	内藤 奎爾	208 (77)
5th ICTA	1977年 8月 1~ 6日(京都)	京都国際会議場	関 集三	199 (160)
13	1977年12月 1~ 3日(東京)	全う連会館	中西 正城	190 (57)
14	1978年11月16~18日(京都)	京都會館	菅 宏	226 (97)
15	1979年10月 3~ 5日(金沢)	金沢大学学生会館	土屋 亮吉	188 (92)
16	1980年11月12~14日(横浜)	東工大総合研究館	佐多 敏之	242 (98)
17	1981年11月11~13日(浜松)	静岡大学工学部	佐藤 太一	223 (126)
18	1982年10月 6~ 8日(仙台)	東北大選鉱製錬研究所	矢沢 彬	218 (118)
19	1983年10月 5~ 7日(東京)	お茶の水大学	中西 正城	245 (94)
20*	1984年11月13~16日(大阪)	大阪工大記念講堂	菅 宏	

* : 記念討論会

主催: 1~5回は日本化学会, 6~9回は日本熱測定研究会, 5th ICTAは組織委員会, 10~20回は日本熱測定学会
上記の他に, 1978年9月9日, 京都御車会館で生物カロリメトリー国際研究集会(世話人: 菅 宏) 17件

2. 特別講演と特別行事

回(年)	特別講演者〔特別行事, 講演者, 報告者, パネラー〕
1 (1965)	関 集三, 高橋洋一, 田中敏夫, 大坪義雄, 小沢丈夫, 神戸博太郎
2 (1966)	天谷和夫, 森本哲雄, 大山 勲, 中瀬吉昭, E. F. Westrum, Jr. [パネル討論会“DTAの利点と限界” 大坪義雄, 須藤俊男, 神戸博太郎, 山本 明, 長崎誠三]
3 (1967)	斎藤進六, 大沢善次郎, 大塚泰一郎, 小野宗三郎, 望月 武, 関 集三, 横川敏雄, G. T. Furukawa
4 (1968)	土屋亮吉, 吉本敏雄, 高田誠二, 菅 宏, C. B. Murphy [国際研究組織に関する報告: 須藤俊男・関 集三・神戸博太郎]
5 (1969)	大塚良平, 上出健二, 仲井由宣, 武内次夫, R. Hultgren
6 (1970)	矢沢 彬, 沢田正三, 三田 達, 高見沢徹一郎, P. D. Garn
7 (1971)	野口哲男, 金綱久明, 石井忠雄, 野口精一郎, J. J. Fritz
8 (1972)	内藤奎爾, 金子六郎, G. C. Benson, H. G. McAdie, G. T. Armstrong, I. Wadsö
9 (1973)	藤代亮一, 中西正城, S. Sunner, H. Tachoire, J. Chiu [パネル討論会“熱分析における動力学的解析” 小沢丈夫, 中瀬吉昭, 上出健二, 都築芳郎], [インフォーマル・ミーティング“生物科学における熱測定”]

回(年)	特別講演者〔特別行事, 講演者, 報告者, パネラー〕
10 (1974)	平野賢一, 河合 徹, 崎山 稔, 滝沢俊治, L. G. Hepler, W. W. Wendlandt (記念講演, 神田英蔵, 斎藤平吉, 宗宮尚行, 田宮 博)
11 (1975)	小沢丈夫, 加藤誠軌, 村上幸夫, 金網久明, 清水 博, O. J. Kleppa, J. E. Desnoyers
12 (1976)	中西浩一郎, 市原祥次, 佐多敏之, J. M. Sturtevant, E. M. Barrall II (5th ICTAの準備状況, 関 集三, 神戸博太郎)
5th ICTA (1977)	神戸博太郎, 大塚良平, 関 集三, P. D. Garn
13 (1977)	なし
生物カロリメトリー国際研究集会 (1978)	R. C. Woledge, S. J. Gill, P. L. Privalov, I. Wadsö
14 (1978)	江原勝夫, 千原秀昭, 三井清人, 横川敏雄, V. P. Kolesov (高温シンポジウム, 谷口雅男, 笹木和雄)
15 (1979)	山本勇麓, J. Wisniak (エネルギー・シンポジウム, 小野修一郎, 吉田邦夫)
16 (1980)	斎藤進六, D. Zudkevitch, D. Y-D. Hsieh, E. F. Westrum, Jr. (界面熱力学シンポジウム, 堤和男)
17 (1981)	作花済夫, N. Langerman (溶液合同シンポジウム, 中西浩一郎)
18 (1982)	斎藤安俊, 黒田敏彦, Hu Jih-heng, W. Zielenkiewicz (インフォーマル・ミーティング, “応用熱測定”)
19 (1983)	十時 稔, 谷口雅男 (生物科学シンポジウム, 藤田暉通, 布村和子)
20 (1984)	徂徠道夫, G. M. Schneider, I. Wadsö, S. Yariv, 佐藤太一, P. G. Gallagher (記念講演, 関集三, 神戸博太郎), [ミニシンポジウム“マイクロカロリメトリーの発展” C. W. Garland, G. M. Schneider, I. Wadsö] (以上, 予定)

3. 日本熱測定学会の歩み

西暦/年	主な動き	会 長	会員数 人	維持会員 社(口)	出版関係の動き
1967					- 関, 藤代, 編 「熱・温度測定と示差熱分析」(南江堂)。
1968					- 関, 藤代, 益子, 向坊, 編で1968年版を科学技術社より刊行。
1969	- 日本熱測定研究会設立	関 集三	319	27 (100)	- 大坪, 神戸, 関, 編で1969年版(科学技術社)
1970	- Newsletter 発刊		436	46 (111)	- 日本熱測定研究会編 「熱・温度測定と熱分析
1971		大坪 義雄	487	45 (101)	1970」(科学技術社)に改題。以後, 同一形式
1972	- 事務局, 現在地へ移転		585	45 (101)	で1973年版まで年刊で発行。
1973	- 日本熱測定学会設立	神戸博太郎	620	51 (110)	
1974		関 集三	634	52 (100)	- 「熱測定」発刊(第1巻)。以後, 年4回刊で今日
1975			641	49 (98)	に至る。「熱・温度測定と熱分析」日本熱測定
1976		武内 次夫	624	45 (93)	学会編で1974年版(科学技術社)。以後, 同一
		関 集三			形式で1982年版まで年刊で発行。
1977			632	42 (76)	- 5月, 「熱測定」第4種郵便物(学術刊行物)認
1978		大塚 良平	615	39 (72)	可。
1979		中西 正城	608	34 (66)	
1980		神戸博太郎	621	33 (65)	
1981	- 役員任期2年となる	森本 哲雄	636	33 (65)	- 「熱・温度測定と熱分析」の内容を進歩総説中
1982		佐多 敏之	636	34 (66)	心の方向に変える。
1983			657	35 (67)	- 「熱・温度測定と熱分析」を「熱測定の進歩」
1984		土屋 亮吉			と改題。第1巻(1983), 第2巻(1984) [科学
1985					技術社]。

資料1, 2, 3の作成に当り, 菅 宏, 柴崎芳夫両氏作成の資料を参考にさせていただきました。記して謝意を表します。(編集委員会)